

# 地域介護公開研究会

VOL.18

## 「消化管内視鏡検査(経鼻内視鏡を含む)の動向」を =PART・ =テーマに勉強会を開催!!

平成18年11月20日(月) 地域ふれあい広場「はなしま」



11月20日午後6時30分から8時まで、地域介護公開研究会(参加者70名)が社会福祉法人晴山会の地域ふれあい広場「はなしま」で開催された。

今回は前回に続き、平山病院に勤務し、日本外科学会認定医として医療現場の第一線でご活躍されている黒木義浩氏を講師としてお招きし、「消化管内視鏡検査(経鼻内視鏡を含む)の動向 = PART・ =」をテーマに勉強会を開催した。

講演は前回の内容を簡単におさらいした後、緊急内視鏡検査、内視鏡を使った止血法(内視鏡的止血法)、潰瘍・ポリープについて、内視鏡的ポリープ切除術、内視鏡の診断目的・診断と治療について、逆流性食道炎、経鼻内視鏡についてなど、項目別に詳しい説明がなされた。

経鼻内視鏡を使った検査のメリットとして、患者が吐気等をほとんどもよおすこともなくスムーズに検査できることや、検査中会話できること、誤嚥性肺炎を引き起こしやすい高齢者への対応が可能なことなどを挙げられた。

介護などに関する情報交換では、訪問看護の現場の状況について、千葉市あんしんケアセンター(地域包括支援センター)との連携についての報告があった。

- 第19回地域介護公開研究会について -

次回の開催については、年明け(2007年)に開催の予定です。  
内容等が決まり次第お知らせします。